



梅が香に のっと日の出る 山路かな

松尾芭蕉

【教科書改訂期】

2015年度は小学教科書の改訂が実施されて、4月から新しい教科書が全国の小学校で使用されるようになります。多くの教材は教科書の内容に沿って制作されているため、教材も新しい教科書に合わせて改訂する必要があります。しかし、新しい教科書が配られる4月から教材を作っている間に合いません。そこで、教材の出版社には、前年の5月ごろに“見本本”という形で文部科学省の検定を通った新しい教科書が配布されます。つまり、各出版社は、改訂実施の前年の5月から、4月の売り出しに間に合わせるために必死で教材の改訂を行うわけです。これが教材関連会社が最も忙しいとされる“教科書改訂期”です。というわけで、2014年5月ごろから2015年1月までは小学教材の作業をスタッフの皆様にお願ひする機会が多かったのです。

教科書改訂の周期は通常4年ごととなっており、小学→中学→高校と1年ずつずれて実施されます。今年度は中学教科書の改訂期（よろしくお願ひします）、来年度は高校教科書の改訂期（アラレスはあまり関係ないかも）、その2年後に次の小学教科書の改訂期となるわけです。

【テスト校正時の教科書】

2015年4月から新教科書になるので、校正に使用する教科書もすべて新教科書に切り替わる・・・とはならないのです。例えば、2015年度の小学6年生を対象にテストでは、1～5年は旧教科書、6年は新教科書を使用して校正しなければなりません（本当は1年のみ旧々教科書なのですが、6年のテストで1年の内容は出題されないで旧教科書を使います）。来年度2016年度には、小学6年テストでは、1～4年は旧教科書、5～6年は新教科書・・・というようにテストの校正では、旧教科書と新教科書を並行して使う必要があります。

さらに、複雑なケースがあります。採択教科書を変更した市町村向けのテストです。4年に1回の改訂年度は、教育委員会が採択教科書を変更する年度でもあります。採択教科書を変更した自治体向けのテストでは、1～5年は啓林館の旧教科書、6年は東書の新教科書で校正する・・・ということがあります。

さらにさらに、複雑なケースがあります。国語と社会で採択が変更される場合です。

【国語】2015年度 新1・3・5年・・・新採択の新教科書

新2・4・6年・・・旧採択の新教科書

2016年度以降 新1～6年・・・2015年度採択の新教科書

【社会】2015年度は、新4年生への新教科書の配布はなし。

→小学3・4年生で使用されている教科書は上・下巻2冊の仕様なので、新3年生になった2014年度の段階で2冊まとめて配布されているため。

このように、改訂期後のテスト校正に使用する教科書に関しては、クライアントに確認するなどして適切な教科書をお渡しするように気を付けておりますが、校正作業中に「出題対象ページが全然合わないな？」と思ったらアラレスにお問い合わせください。

【学習指導要領の改訂(少し先の話)】

教科書の改訂とは別に、“学習指導要領の改訂”の話題をニュースなどで耳にすることがあるかと思います。学習指導要領とは、各教科で教える内容を文部科学省が定めたもので、教育課程の基準となるものです。最近では、2008年に改訂されて、小学が2011年から、中学が2012年から実施されました。「生きる力の育成・脱ゆとり教育」と話題になりました。

学習指導要領は教科書作成の基準なので、学習指導要領が改訂されると教科書は大幅改訂となります。しかし、急激に教科書の内容が変わると、未履修内容が発生してしまいます。そこで、新しい学習指導要領による学習にスムーズに適応できるようにするため、改訂の3年前ぐらい前から各学年の学習内容の調整が行われます。これが「移行措置」です。旧課程の内容の一部を削除したり、新課程の内容の一部を先行して追加したりするのですが、これにより教材の改訂や増補版の制作が発生します。

今回の学習指導要領の改訂は2016年度末で、全面実施は2020年とされていますので、逆算すると、2017年ごろから移行措置に対する対応が必要になりそうですね。

産休のご挨拶

私、●●ですが、3月から産休にはいるため2月末でいったん会社をはなれます。今までお世話になりました。ありがとうございます。

2年前の2013年4月に入社し1年間採点部門で担当しておりました。採点の方でお世話になった方もいらっしゃると思いますので、改めてご協力いただきありがとうございました。昨年3月で採点事業から撤退し、2014年4月から編集に移ってきました。対応が不十分でご迷惑をおかけしたかと思いますが、皆様のおかげでクライアントへ滞りなく無事に納品することができました。先方から精度が高い校正だと評価していただき、継続して校正の依頼を受けております。これも校正者、社内で勤務してくださるスタッフの皆様のおかげだと考えております。引き続き、弊社をよろしく願いいたします。

このようにいいスタッフ、環境の中で働くことができていたので、はなれてしまうのは寂しく感じます。初めての出産・育児となるのでうれしい思いもある反面、不安に思うこともあります。しかし、人間的な成長につながる経験ができ、また子育て中のお母さんスタッフの気持ちをより理解できるととらえています。まずは出産を乗り切り、産休・育休を経てパワーアップして復帰できればと考えています。その際は、何卒よろしくお願いいたします。

業務連絡

毎月末には請求書のご提出をお忘れのないようよろしくお願いいたします。

次期学習指導要領では、タブレット端末を活用した指導が盛り込まれるようです。将来的には、タブレット端末が教科書やノートの代わりになるのでしょうか。そうすると、学校へ持っていくのは、タブレット端末と体操着、たて笛だけになって、ランドセルが軽くなりそうですね。



文責：沈黙のひつじ